

平成30年度教育研究活動報告書

氏名	西嶋 亜美	所属	芸術文化学部美術学科
学位	博士（文学）	職位	講師
専門分野	西洋美術史（フランス近代美術史）		

I 教育活動	
本年度担当科目	
	授業科目
学部	美学講義（通年）、西洋美術史講義（通年）、西洋美術史講義Ⅰ（前期）Ⅱ（後期）、博物館入門（前期）、博物館実習Ⅰ（後期）、博物館実習 事前事後学習（通年）、美術表現入門（後期・オムニバス）
大学院	芸術学特講（通年）、美術史特講（西洋）（通年）
II 研究活動	
現在の研究テーマ（3つまで）	
（1）ドラクロワの物語画と文学	
（2）19世紀中盤のフランス絵画における反復と再制作	
（3）表現における余白・沈黙・無等の否定的契機についての分野横断的研究（共同）	
本年度を含む過去3年間の研究業績 H30・H29・H28（件数は追加可）	
H30	〈論文〉西嶋亜美「小説」をもとに「詩」的な絵画は可能か —『アイヴァンホー』をめぐるドラクロワの挑戦— 『尾道市立大学芸術文化学部紀要』、第18号、2019年、予定。
	〈報告書〉西嶋亜美・藤本真理子（沈黙研究会）「無への挑戦」、『尾道市立大学芸術文化学部紀要』、第18号、2019年、予定。
H29	〈論文〉西嶋亜美「19世紀中盤の「反復」制作とドラクロワ—自作の「反復」の諸相—」、『尾道市立大学芸術文化学部紀要』、第17号、2018年、153-167頁
	〈報告書〉西嶋亜美「造形芸術における描写とリアリズム」『19世紀文学とリアリズム 研究会報告書』（リアリズム文学研究会）2018年3月、59-62頁
	〈コメンテーター〉西嶋亜美「フランス近代美術の立場からのリアリズム」公開研究会「19世紀文学とリアリズム」京都大学、（2018年2月3日）〔招待あり〕
H28	〈学位論文〉西嶋亜美「ウジェーヌ・ドラクロワの物語画と文学」京都大学大学院文学研究科課程博士論文、全304頁、2016年11月、全307頁
	〈翻訳・解説〉西嶋亜美「ドラクロワの「モロッコ旅行記」試訳」『尾道市立大学芸術文化学部紀要』第16号、2017年、69-85頁（予定）（査読なし）
H27以前の主な研究業績（件数は追加可）	
（1）	〈論文〉西嶋亜美「19世紀前半のフランスで「文学作品を描く」こと—歴史的背景とジャンルの問題—」『尾道市立大学芸術文化学部紀要』、第15号、2016年、71-81頁
（2）	〈論文〉西嶋亜美「ドラクロワの「日記」における絵画と文学の位置付け—主題、表現形態、制作過程の三つの観点から—」『藝術研究』（広島芸術学会学会誌）2015年、（28）、31-45頁
（3）	〈論文〉西嶋亜美「ドラクロワによる二点の《ジャールとハッサンの闘い》——戦闘イメージの起源と北アフリカ旅行の意義をめぐる考察——」『日仏美術学会会報』（34）、2015年、3-23頁〔査読あり〕
（4）	〈学会発表〉西嶋亜美「ドラクロワ作《十字軍のコンスタンティノープル攻略》—歴史的細部の再現と普遍性—」第68回 美術史学会全国大会、岡山大学（2015年5月23日）〔レジュメ審査あり〕
（5）	〈報告書〉西嶋亜美「ドラクロワ作《トラヤヌス帝の正義》——知的文化的潮流から絵画へ——」『鹿島美術研究年報別冊』、2014年11月、153-163頁
（6）	〈学会発表〉西嶋亜美「ドラクロワの著述にみる文学と絵画」広島芸術学会第28回総会・大会、ひろしま美術館（2014年7月26日）
（7）	〈学会発表〉西嶋亜美「ウジェーヌ・ドラクロワによるバイロン作『邪宗徒』諸作品の再考」日仏美術学会第130回例会、東京日仏会館（2014年2月8日）
（8）	〈論文〉西嶋亜美「ドラクロワ作『墓地のハムレットとホレーシオ』諸作品をめぐる—演劇の豊饒さから絵画独自の効果へ—」、『美術史』第172冊、2012年、173-191頁〔査読あり〕

平成30年度教育研究活動報告書			
氏名	西嶋 亜美	所属	芸術文化学部美術学科
学位	博士(文学)	職位	講師
専門分野	西洋美術史(フランス近代美術史)		
(9)〈学会発表〉NISHIJIMA, Ami L'emploi des théories littéraires et artistiques dans la représentation du monde antique autour de Delacroix, Ecole de Printemps, 10e édition Art et Savoir, Paris, Centre Allemand de l' Histoire de l' Art, (2012/5/18) [レジュメ審査あり]			
(10)〈論文〉西嶋亜美「ドラクロワによる「挿絵」連作《ファウスト》—複数の着想源と技法革新の統合の試み—」、『京都美学美術史学』第9号、2010年、141-172頁 [査読あり]			
学会、所属団体における活動 (本年度を含む過去3年間の研究業績) H28・H29・H30			
所属学会・所属団体 役職等と任期			
美術史学会、美学会、日仏美術学会、広島藝術学会、Association of Historians of Nineteenth-Century Art.			
IV 社会活動			
1. 学外活動(本年度1年間の活動状況) (件数は追加可)			
(1) AIR Zine編集室参加、原稿執筆、および啓文社新浜店において選書			
(2) 第76回尾道みなと祭り審査員			
その他()		2回	
(NGO・NPO活動、国際交流・協力活動、ボランティア活動等その他特記事項があれば記入) (1)は2016年から参加している活動であり、今年度も三度ほど啓文社新浜店にて選書棚への選書とポップ作成を行った。Zineの新号の制作も開始している。(2)みなと祭り審査員は、美術学科への依頼を受けて参加し、幼児・小学生部門の審査を行った。一生懸命取り組む踊り手たちに敬意を払い、個性や自然なチームワークをくみ取った講評を現場に届けるよう心掛けた。			
2. 委員会及び協議会委員(本年度1年間の活動状況)			
委員会等の名称			
(1) 尾道市関係	歴史的風致維持向上計画推進協議会委員(2019年2月18日より)		